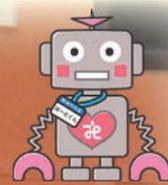


みんなで育む安心のまち「おたがいさま」と「少しのおせっかい」

社協やす

令和6年(2024年) 5月号

No.102



野洲市社協キャラクター
「はーとくん」



地域で子育ての輪が広がっています 
さくらんぼクラブ (三上学区)

発行：  野洲市社会福祉協議会

〒520-2423 野洲市西河原2400番地 電話：077-589-4683 FAX：077-589-5783

E-mail：fukushi@yasu-syakyo.or.jp ホームページ：https://yasu-syakyo.or.jp



ホームページ



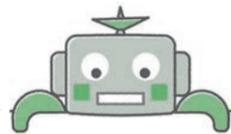
Facebook



LINE

発行年月日：令和6年5月15日

 この広報誌は、一部赤い羽根共同募金の配分金で作成しています。



令和6(2024)年度 社会福祉法人 野洲市社会福祉協議会 事業計画

重点事業 1

「多様なつながり」のある 地域づくり・人づくり

第3期地域福祉基本計画の基本理念に基づき、世代や年齢に関係なく、生きづらさ、困りごとのある人など、誰もが社会とつながり、さまざまな参加のかたちにより地域でいきいきと活躍できる地域づくり・人づくりに取り組みます。



【基本理念】

「すべての人が ともに生き ともに 支えあう
安心して暮らせるまち やす」

【基本方針】

「おたがいさま」と「少しのおせっかい」

重点事業 2

第2次中期経営計画の推進

令和5年度に策定した「第2次中期経営計画」に基づき、本会が取り組むべき福祉課題や生活課題に対応できるよう、組織体制の強化や地域福祉の推進を効果的に実践できるよう、職員の専門性の向上などに取り組み、経営基盤の確立に努めます。



重点事業 4

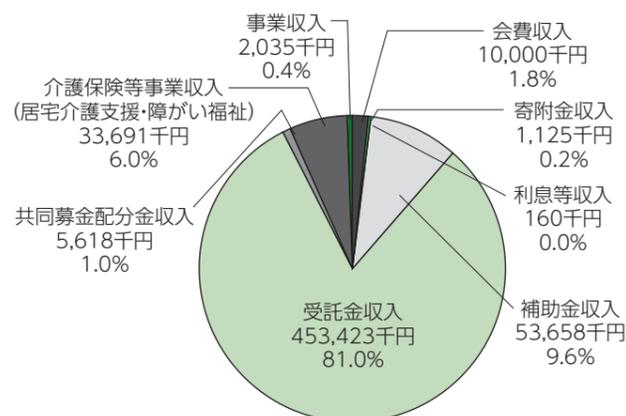
総合的・専門的な相談支援の実施

身近なところで気軽な相談から専門的な相談まで対応できるよう、ニーズに対応した情報提供や相談体制を整備し、支援を必要とする人が、必要とするサービスを適切に利用できる仕組みづくりに取り組みます。



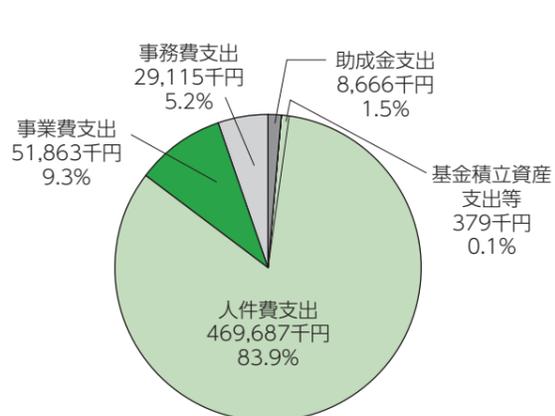
令和6(2024)年度 一般会計予算 総額 559,710,000円

収入の部



※受託金収入の内、学童保育所(25所)事業分
388,360千円(85.7%)

支出の部



※人件費支出の内、学童保育所(25所)事業分
330,128千円(70.3%)



★詳しい実施事業はホームページに掲載しています。



新しい職員が仲間入りしました!



川崎 圭
(相談支援課)

気軽にご相談いただける
関係を築けるよう
笑顔で頑張りたいと思います。
よろしくお願いいたします。

滋賀県レイカディア大学 第45期生だより

その①

野洲市在住の第45期生の皆さんが毎回交代で登場します！

レイカディア大学に入学しました。

島田 洋子

抽選の結果、レイカディア大学の健康づくり学科で学べる事になりました。何と3倍もの応募者があり、今回入学を許された私達はラッキーでした。女性14名、男性11名。昨年10月から元気に通っています。クラスには野洲市在住者が私を含めて4名もいて、これまたビックリでした。それまで面識のなかった4名ですが、楽しく学んでいます。この4名はクラスの要職を担っており、キョウヨウがある（今日、用事がある）。キョウイク（今日、行く所）がある張合いのある毎日を謳歌しています。今後、他クラス・他キャンパスに入学した者を含めた6名で順に寄稿させていただきますので、お楽しみください。



滋賀県レイカディア大学とは…

滋賀県社会福祉協議会では、人生100年時代を迎え、高齢者の社会参加への意欲の高まりに応え高齢者が新しい知識と教養を身につけ、地域の担い手として活躍できるよう支援するため滋賀県レイカディア大学を開設しています。昭和53年7月の開設以来、約6,500名以上が卒業し、それぞれの地域でボランティア活動や仲間づくりなどの地域活動を行っています。

野洲市ボランティア 連絡協議会です

加入しているボランティアグループさんを紹介します

【野洲音訳グループ さえずり】

印刷物の音訳*を中心に社会福祉活動をされているボランティアグループです。

聞き取りやすい、わかりやすい言葉で伝えられるよう技術向上のため、勉強会を月2回開催

(※音訳：各種印刷物の情報を声に変えて視覚に障がいのある方へ伝えること)

【定例会日時】 毎月 第2・第4月曜日 10:00~12:00

【場 所】 野洲市健康福祉センター

【主な活動】 広報やす、市議会だより、社協やす、ごみカレンダーなどの音訳CD作成、音訳の勉強会、びわこ学園へ訪問紙芝居、個人宅で対面音訳



会員募集中

仲間を募集しています！
読むことが好きな方、大歓迎です。

サロン交流会(前期)の お知らせ

6月24日(月) 10:00~11:30
(コミセンなかさと大ホール)

6月27日(木) 10:00~11:30
(コミセンしのはら大ホール)

サロンのみなさんの出会い・交流・情報交換によりサロン活動が充実しますように、交流会(前期)を開催します。備品紹介やサロンプログラムの質問などこの機会にどうぞ！

みなさんの参加をお待ちしております。



令和5年度サロン交流会の様子



おしらせ版

皆様の温かい善意ありがとうございます

(令和6年2月11日～令和6年4月10日 受付分)

《金員の部》

野洲組仏教婦人会連盟	10,000円
中主文化振興会	13,500円
urara	10,000円
木部遺族会	134,140円

《物品の部》

匿名	野菜(人参・白菜・なばな)
カーブスアルプラザ野洲	食料品
匿名	野菜(ブロッコリー)
JAレーク滋賀野洲地区女性部 十色会	お手玉5個×60袋
三崎雅子	生理用品

《指定預託》ちゅうず子ども食堂へ

匿名	お菓子・ジュース (敬称略)
----	-------------------

温かい思いやりありがとうございました。
有効に使わせていただきます。

義援金・救援金お礼

温かいご協力をいただきありがとうございます。
お寄せいただきました義援金・救援金につきましては、被災地へ全額をお送りし、被災地の方々の生活支援に役立てられます。
引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

日本赤十字社滋賀県支部 野洲市地区受付分

(令和6年4月10日未現在)

受付中(受付期間)	累計額
令和6年能登半島地震災害義援金 (2024年12月27日(金)まで)	1,080,660円
2024年台湾東部沖地震救援金 (2024年6月28日(金)まで)	—
ウクライナ人道危機救援金 (2025年3月31日(日)まで)	79,112円

海外救援金の受付も行っています。
詳細は野洲市社協ホームページをご覧ください。

介護者家族の会 懇談会のお知らせ

介護を必要としている人の家族や、介護に関心のある人たちが日頃の介護についていろいろな問題を共に解決していくために集まっています。

介護の相談や情報交換等を行い「一人だけじゃない」「仲間がいる」と参加者相互の親睦を深め、心身をリフレッシュします。皆さんの参加お待ちしております。

どなたでもお気軽にご参加ください。

問い合わせ 野洲市介護者家族の会 事務局 野洲市社会福祉協議会 TEL 077-589-4683 FAX 077-589-5783

期 日	場 所	時 間
5月15日(水)	野洲市 健康福祉センター (辻町433-1)	13:30 }
6月19日(水)		15:00
7月17日(水)		

はーとくんカフェ開催中!

ちょっと出かける場所ないかなあとお考えのみなさま!

ぜひお気軽にお立ち寄りください。

将棋や囲碁、折り紙などをご用意しています。

またアルプラザ野洲店内ウォークラリーで

軽く体を動かすこともできます。

のんびりと好きなことをして過ごしましょう!



対 象 どなたでも(*予約不要 *参加費無料)

開催日 毎月第2水曜日

期 日	場 所	時 間
6月12日(水)	アルプラザ野洲1階 サービスセンター前 おとなREスペース (小篠原1000)	10:00 }
7月10日(水)		12:00

問い合わせ 野洲市社会福祉協議会 TEL:077-589-4683 FAX:077-589-5783

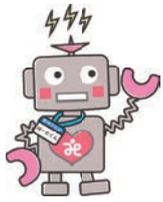
〈お詫び〉

社協やす3月号6ページの歳末たすけあい募金の報告において、次の方々の記載ができておりませんでした。

誠に申し訳ございませんでした。

- ・(株)きすな様
- ・(株)フリーライフ様
- ・島村平治様(米)

温かいご支援いただきましたこと、改めて心より厚く御礼申し上げます。



ヒコク インクビュー

野洲北中学校圏域 (北野・祇王・篠原学区)

世帯数：8,657 高齢化率 (65歳以上の人口が占める率)：27.8%

令和5年4月1日現在

みんなまち@野洲北中圏域 ～ みんなでまちづくり ～

みんなまち@野洲北中圏域では、北野・祇王・篠原学区の住民や事業者の皆さんと、社協、行政で意見交換を行いながら「地域のコト」について話し合っています。



地域包括支援センターと社会福祉協議会が一緒に開催しているのですよね？



「誰もが“住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられる地域”をつくる」という「まちづくり」という共通の目標に向けて、会議の企画・運営を一緒にやろうということになりました。

参加されている皆さんの声でつくる「みんなまち」は会を重ねるごとに、いろんな情報や力を得てみんなが元気になれる場になっています。



参加者の声でつくる「みんなまち」とは？



自分の住む地域について、子どもたちの思いも聞いてみたいという意見を受けて、中学生に参加してもらえないかと野洲北中学校に相談したところ、生徒会メンバーの5人の2年生が参加してくれることになりました。



中学生が参加された「みんなまち」ではどんな声がありましたか？



「中学生と同じ意見もあって世代が違っても同じ事を思っていることが分かって嬉しい」、「大人の意見を知らせてもらえるいい機会になった」、「さっそく地域で中学生と一緒にできる活動を実践しよう」など中学生と一緒に取り組みを始めようとする前向きな意見がありました。

また、中学生も「普段大人と関わる機会が少なく、地域で怒られたこともあったけど、皆さんと一緒にグループワークをして地域の大人の印象が良い方に変わった」や「普段話さない世代と話せて楽しかった」、「地域の行事を調べて、友達と一緒に積極的に参加しようと思う」などの感想がありました。

何より印象的だったのは、大人たちの笑顔です。世代を超えた話し合いでうまれた化学反応を目の当たりにして、やはり地域づくりには話し合いが大きな一歩だと感じました。



「みんなまち」を続けていてよかったと思うのはどんなことですか？



参加されている方向士が交流し、地域の課題や取り組みを共有することで、自分の地域の取り組みをさらに進めていこうとされていることを感じています。そして「みんなまち」が出会い・学びのプラットフォームの役割を果たすことができているのではないかなと思っています。



地域包括支援センターと社協の役割を持ち寄って新たな出会いが作り出したことも「みんなまち」の今につながっていると感じています。

今後も新たに参加を呼びかける自治会を広げていながら、参加されている皆さんの声をもとに関係機関・事業所等をまき込んで「地域づくり」をしていきたいと考えています。

